

# Valves

## バルブシリーズ

最先端の半導体業界で培った、多種多様なバルブをラインナップ。プラグタイプやダイヤフラムタイプなどの切り替えバルブや、ノズル先端の液だれを防ぐサックバックバルブ。マニュアル・電動式が選べるニードルバルブ。特殊スプリングを採用したチェックバルブ、リリーフバルブとトータルでご提案します。また、圧力センサーなどを組み合わせた集積化も可能です。



バルブ  
シリーズ

エアオペレートバルブ/サックバックバルブ/モメンタリーバルブ 機種選定一覧表	.. P.156	ニードルバルブ 機種選定一覧表	..... P.194
集積システム 概要	..... P.157	ニードルバルブ 概要	..... P.195
集積システム ES型	..... P.158	ニードルバルブ HNV型	..... P.196
集積システム TW型	..... P.158	ニードルバルブ NNV型	..... P.198
エアオペレートバルブ PSD型	..... P.159	ニードルバルブ CNV型	..... P.199
エアオペレートバルブ PSDX型	..... P.161	ニードルバルブ HNV-SHT型	..... P.200
エアオペレートバルブ SD型	..... P.163	・使用上のご注意	..... P.202
エアオペレートバルブ SD-T型(3方弁タイプ)	..... P.168	チェックバルブ&リリーフバルブ 機種選定一覧表	..... P.203
エアオペレートバルブ NSD型	..... P.169	チェックバルブ CK型	..... P.204
サックバックバルブ PSS型	..... P.171	チェックバルブ CK-SHT型	..... P.206
サックバックバルブ SSV型	..... P.172	チェックバルブ FT型	..... P.207
モメンタリーバルブ MVH型	..... P.174	チェックバルブ FTL型(低クラッキング圧タイプ)	..... P.208
モメンタリーバルブ MMV型/MTV型	..... P.176	チェックバルブ FTX300P型	..... P.208
・使用上のご注意	..... P.178	チェックバルブ FTLX300P型(低クラッキング圧タイプ)	..... P.209
プラグバルブ 機種選定一覧表	..... P.179	ミニチェックバルブ MFTD型	..... P.210
プラグバルブ VC型	..... P.180	ミニチェックバルブ MFP型	..... P.211
プラグバルブ VC-SHT型	..... P.182	リリーフバルブ RB型	..... P.212
プラグバルブ VC-T型	..... P.184	リリーフバルブ RBF型	..... P.212
プラグバルブ VCM型	..... P.185	リリーフバルブ RB-HT型	..... P.213
プラグバルブ VC-G型/VC-A型	..... P.187	リリーフバルブ RBF-SHT型	..... P.213
プラグバルブ VCM-G型	..... P.188	チェックバルブ SCV型(SUSタイプ)	..... P.214
プラグバルブ VC-TF型/VC-TF60型	..... P.189	リリーフバルブ SAT型/SLT型(SUSタイプ)	..... P.215
プラグバルブ VC型(小型タイプ)	..... P.190	・使用上のご注意	..... P.216
イナートバルブ	..... P.191	薬液ミキサー MZ型	..... P.217
・使用上のご注意	..... P.193	・使用上のご注意	..... P.218

# チェックバルブ & リリーフバルブ

## 機種選定一覧表

### ●チェックバルブ《樹脂製》

構造	ボディ材質	接液部材質	クラッキング圧力	接続形状	基本型式
スプリング方式	PFA	PFA、PTFE、各種Oリング	10kPa前後	チューブ出し チューブ出しナット施工	CK型
				継手出し	
	PTFE	PFA、PTFE、各種Oリング	20kPa前後	Rcネジ	FT型
				チューブ出しナット施工	FTX300P型
PTFE	PTFE、各種Oリング	5kPa前後	Rcネジ	FTL型	
			チューブ出しナット施工	FTLX型	
スプリング方式 (高温用)	PTFE	PTFE、カルレッツ®Oリング	10kPa前後	チューブ出し (1/4"~1/2")	CK-SHT型
			30kPa前後	チューブ出しナット施工 (3/4"のみ)	

### ●ミニチェックバルブ《樹脂製》

タイプ	ボディ材質	接液部材質	接続形状	基本型式
ダックビル方式	PCTFE (一部PTFE)	PCTFEまたはPTFE、 各種ダックビル材質	Wフィッティング ルアーロックフィッティング	MFTD型
ダックビル方式	PP	PP、各種ダックビル材質	チューブ接続	MFP型

### ●リリーフバルブ《樹脂製》

タイプ	ボディ材質	接液部材質	リリーフ調整圧力	接続形状	基本型式
標準	PFA	PFA、PTFE、パーフロOリング	50~400kPa	チューブ出し	RB型
中温 (100°Cまで)					RB-HT型
高温 (180°Cまで)	PTFE	PTFE	50~250kPa	継手出し	RBF-SHT型
Oリングレス	PFA	PFA、PTFE	50~400kPa	チューブ出し	RBF型

### ●チェックバルブ《SUS製》

構造	ボディ材質	接液部材質	クラッキング圧力	接続形状	基本型式
スプリング方式	SUS316	SUS316 SUS304 各種Oリング	標準7kPa 特注: 1kPa、20kPa、50kPa	Rcネジ	SCV型

### ●リリーフバルブ《SUS製》

タイプ	ボディ材質	接液部材質	クラッキング圧力	接続形状	基本型式
低圧大気開放型	SUS316	SUS316 SUS304 各種Oリング	50kPa前後、100kPa前後、 150kPa前後、200kPa前後、 250kPa前後、300kPa前後	R、Rcネジ	SAT型
低圧インライン型					SLT型

**ご注意**

- チェックバルブ、リリーフバルブは気体でご使用の場合、音鳴りおよび振動音が発生することがあります。(製品不良ではありません。)
- 長期間放置後の使用時には、初期のクラッキング圧が高くなる場合がございます。ご使用前に動作開始してご使用ください。

## Check Valves

## チェックバルブ SCV型

RoHS2



SCV-4-V

## 特長

- ◎ Oリングおよびメタルタッチでのダブルタッチ方式を採用することにより、ゼロリークおよび長寿命を実現しました。
- ◎ Oリング材質を選定することにより、各種流体に幅広く対応が可能です。
- ◎ スプリング材質SUS316を全シリーズに標準採用しました。
- ◎ 特殊クラッキング圧力指定が可能です。

## ご注意

気体でご使用の場合、音鳴りおよび振動音が発生することがあります。  
(製品不良ではありません。)

## 型式

SCV-□-□-□

- ▶ クラッキング圧力
  - 1 : 1kPa前後
  - 無 : 7kPa前後
  - 20 : 20kPa前後
  - 50 : 50kPa前後
- ▶ Oリング材質
  - K: カルレッツ®
  - V: FKM
  - E: EPDM
- ▶ 接続サイズ
  - 1: R1/8
  - 2: R1/4
  - 3: R3/8
  - 4: R1/2
  - 6: R3/4
  - 25: R1

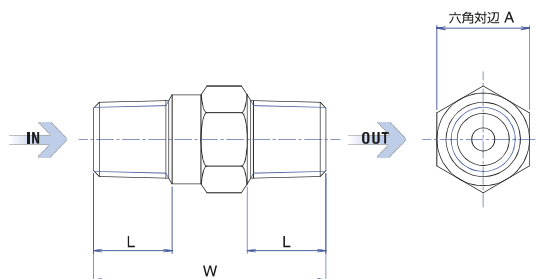
\*接続サイズ 25:R1は、Oリング材質パーフロの選定はできません。

## 仕様

流体	流体圧力	耐圧	標準クラッキング圧力	接続形状	接液部材質
液体、気体	真空～4.9MPa	7.35MPa	7kPa前後	Rネジ	SUS316、SUS304、各種Oリング

## 寸法図／寸法表

●SCV-□



型式	L	W	六角対辺 A
SCV-1	10	33.5	13
SCV-2	13.6	40.2	16
SCV-3	13.8	40.5	19

型式	L	W	六角対辺 A
SCV-4	18	48	22
SCV-6	22	59	29
SCV-25	21	68	35

## Check Valves & Relief Valves

### ●使用上のご注意



- ◎ ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。また、取扱説明書記載以外のご使用で発生した事故につきましては、責任を負いかねますのでご注意ください。
- ◎ 製品の仕様範囲内でご使用ください。
- ◎ 製品構成・材料と使用流体、周囲雰囲気との適合性を確認の上、ご使用ください。
- ◎ ゴミ、異物が混入している流体はバルブの正常な機能を妨げますので、使用しないでください。
- ◎ 研磨剤または凝固しやすい流体は、正常な機能を妨げますので、固着させないような方法を取るなどして、取り扱いには十分ご注意ください。
- ◎ 製品本体には液体が付着しないようにしてください。
- ◎ 透過性の高い薬液を長時間使用する場合は、安全のため必ず定期点検として異常の確認を年に1～2回行ってください。
- ◎ 急激な流体温度が生じるような条件では、製品が破損するので使用しないでください。
- ◎ 過大圧、ウォーターハンマーが発生しない条件で使用してください。
- ◎ 製品上部に重量物を載せないでください。
- ◎ 必ず流体の流れを矢印方向となるように配管してください。
- ◎ 配管による引張、圧縮、曲げなどの力がバルブに加わらないように、配管してください。
- ◎ 過大な振動、衝撃のかかるご使用はしないでください。
- ◎ オスネジを取り付ける場合は、相手材質に金属などの硬い材質は避けてPTFE、PCTFE、PFA、PE、PPをご使用ください。過度の締め付けはリークおよび破損を招く恐れがありますので、適性トルクで締め付けてください。
- ◎ 製品の分解はしないでください。
- ◎ チェックバルブおよびリリーフバルブは、製品の構造上(特に気体の場合)キャビテーションによる振動音が発生することがあります。
- ◎ 長時間作動していないチェックバルブ、リリーフバルブの場合、初期のクラッキング圧力が通常より高くなる可能性があります。使用前にバルブを開放動作してご使用ください。
- ◎ 静電気が発生する場合は、機器が故障する可能性があります。帯電防止策を施してご使用ください。
- ◎ 必ず環境温度範囲内でご使用ください。
- ◎ 製品を直接外部から温めて使用しないでください。外部リークまたは内部リークなど故障の原因になります。